

2006年 卒業研究要旨

いま なぜ「ストリートダンス」なのか

藤吉 麻子(7031-1077)

指導教官：笹原 恵

研究の背景

私自身が小さい頃からダンスというものに興味があり、高校時代からダンスを続けてきた。その中で、ここ数年のうちに、ストリートダンスを取り巻く環境が、大きく変化してきていることを感じていた。テレビをつければ、アーティストのバックに多くのダンサー達が踊っている姿を見ることができる。また、ストリートダンスをメインにしたテレビ番組が放送され、歌番組の中でも「親子ダンス選手権」というコーナーが設けられ、バラエティー番組でもダンスがクローズアップされている。ダンスに関するビデオ、DVD、雑誌なども続々と発売されるようになってきている。週末には街中でダンスのイベントやコンテストが開催され、高校や大学のダンス部やダンスサークルの数も年々増えてきている。しかし、これらの変化は私が感覚的に把握していることに過ぎなかった。はたして、現在のストリートダンスシーンにどのような変化が起こっているのか、そして、このダンスブームの原因はどのような部分にあるのかという疑問を抱いていた。そこで、私は、「ストリートダンス」とそれらを踊る人々に焦点をあて、卒業論文に取り組むことにした。

研究目的

今まで「舞踊」に関しては、舞踊学、現代舞踊学、舞踊人類学、民族舞踊学など、様々な視点から研究がなされてきた。しかし、古くから注目されてきた、民族舞踊、日本舞踊、クラシックバレエとは違い、「ストリートダンス」という分野に焦点を当てた研究は、今までほとんど行われてこなかった。そもそも、「ストリートダンス」という分野が日本に渡り、確立され、「ストリート」という場所が話題になり始めたのは、1970年代以降のことである。そこで、私は、今注目を集め始めている「ストリートダンス」という分野に焦点をあて、「踊り」とは何なのか、ストリートダンスとは何なのか、ストリートダンスはいつどこで誕生し、どのような発展を遂げてきたのか、日本ではどのようにして広がってきたのかを明らかにしていくことにする。また、モノグラフ的に私の視点から見たストリートダンスの現状や、私のかかわっているダンス活動の実態について、記述、分析を加えたい。その中で、今なぜストリートダンスがブームとなっているのかについての考察を試みることにする。さらに、この研究では、自らの経験や周辺のダンサー達を調査、分析することで、ダンサーの生の声を聞き、現在のダンスシーンの動きを把握する。そして、現在のストリートダ

ンスシーンにおける変化を明らかにし、人々が何をきっかけにダンスを始め、なぜ踊っているのかについて考察を進め、ストリートダンスというものをダンサーとしての内側から描く。

研究方法

まず、文献やホームページを参照することで、「舞踊」とは何か、「ストリートダンス」とは何かについて明らかにする。さらにストリートダンスの発生と日本での広がりについてまとめてみたい。そして、実際にダンスをしている自分の視点から、ストリートダンスの現状を描き出すとともに、「ダンス活動に関する実態調査」を実施することで、ダンス活動の実態を把握し、ダンスブームの原因について考察を進める。

『ダンス活動に関する実態調査』

(調査対象者:①静岡文化芸術大学ダンス部うららの現役生 20 人 ②静岡大学モダンダンス部浜松キャンパスの現役生 9 人 ③ダンススクールに通う生徒、8 人 計 37 人)

研究成果

ストリートダンスについて調べる中で、ストリートダンスは、アメリカの都市のゲットーの中で、アフリカン・アメリカンたちによって創り出されたものであることが明らかになった。ストリートダンスは、貧しい子供たちに夢や希望を与え、彼らにとって、自分を誇るための手段となっていたのである。さらに、日本におけるストリートダンスは、ディスコから始まり、映画、TV番組、アーティストへと媒体を変化させていったことが明らかになった。ただし、広まったのはダンスの形だけであり、ストリートダンスがどのように生まれたか、また、ストリートダンスの元にあるカルチャーについては触れられることが少なく、現在でも、形だけが広まってしまっているという問題点も浮かび上がってきた。また、コンテストなどから、間接的にはあるが、ダンス人口が実際に増加していることを読み取ることができた。

アンケート調査の結果からは、調査前に私が、メディアによるものであると考えていたダンスブームの原因は、現在では、メディアの影響と同等に、友人など、身近な人からの影響を強く受けていることがわかった。さらに、ストリートダンスが日本に渡った当時、ストリートダンスは、20代の男性のものであったが、時代が進むにつれ、高校生が踊るようになり、現在では女性ダンサー、キッズダンサーが急激に増加している。このように、ストリートダンス界は新たな時代を迎えており、第四次ダンスブームに突入しているのである。また、調査結果から、10歳以下でダンスを始めた人は親の影響を受けている場合が多いこと、20歳を過ぎてからダンスを始めた人も多数いること、男性と女性では、ダンスを始める方法、ダンスに対する捉え方に違いが見られることなどが、ダンス活動に関する生の声を聞くことで明らかになった。さらに、今後キッズダンサーがさらに増えることが予測される結果も表れた。